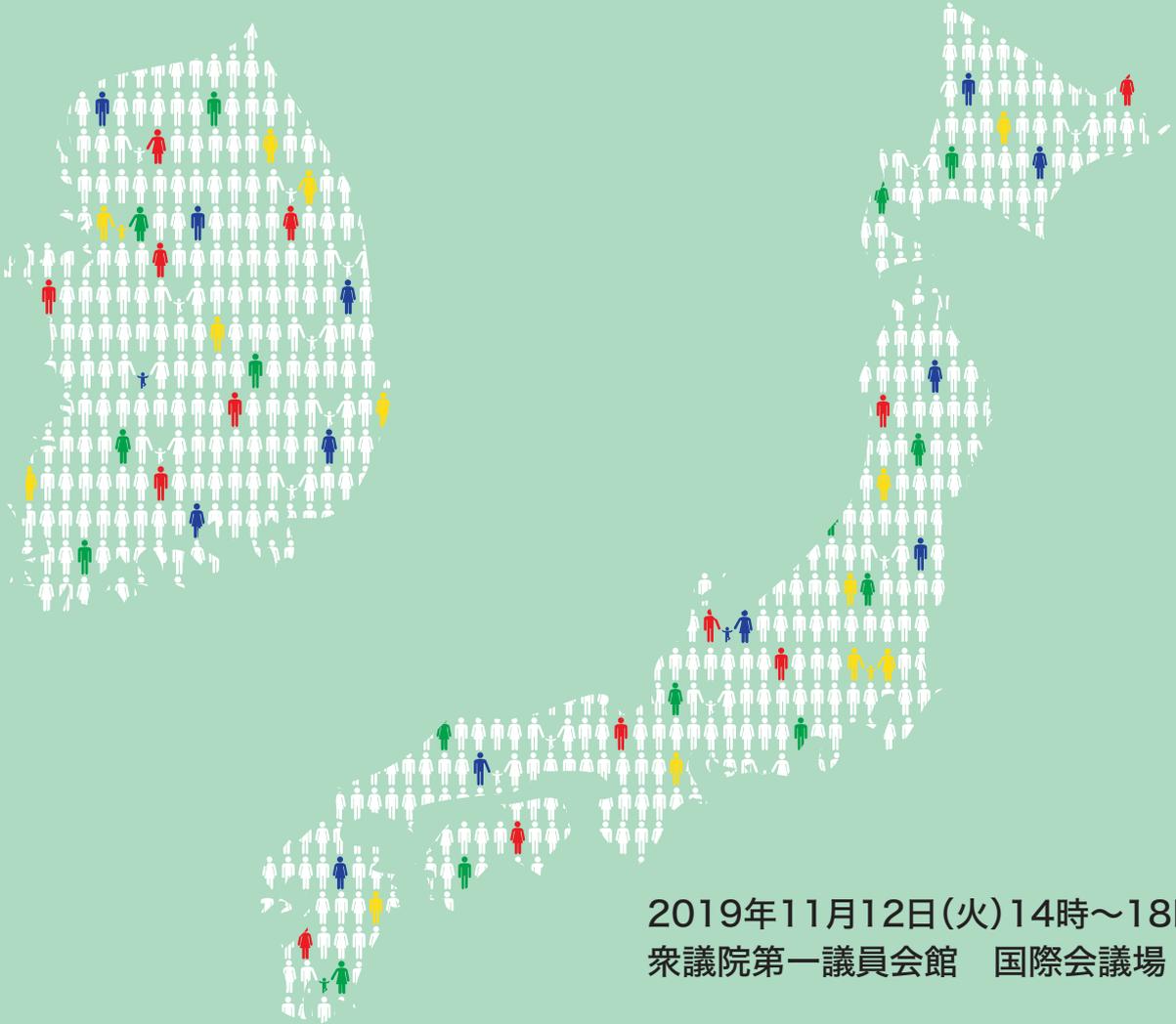


公開シンポジウム

# 移住者として生きる

—「移民社会」日本と韓国の今とこれから—



2019年11月12日(火)14時~18時  
衆議院第一議員会館 国際会議場

日本と韓国は、少子高齢化による人口減少と、移住者の増加による社会の多文化・多民族化という社会経済の大きな変化が進展しています。こうした社会経済の変化は、教育、医療、労働、福祉などの従来の社会システムに新たな課題を提示すると同時に、移住者の人権を保障しながら移住者のもつ多様性を生かすことができるシステムとは何かという新しいアイデアを求めるものです。

さらに日本と韓国が社会経済の変化に対応できる新たなシステムを構築していく上で、法制度と政策に直接影響を受け、その制度と政策を主体的に活用すべき存在である移住者とそのコミュニティの声を聴き、その役割を社会的に認識することは欠かせません。

本シンポジウムでは、こうした問題意識のもとで、「移民社会」日本と韓国で生きる移住者と、移住者にかかわる様々な取り組みをリードする日韓の専門家がそれぞれの視線から、多文化・多民族な「移民社会」日本と韓国の今を語り、これからともいどのような社会を創っていくかについて議論を行います。

# プログラム

14:00～14:05 開会あいさつ  
大河原 昭夫 (公財) 日本国際交流センター 理事長

## 第一部 「移民社会」日本と韓国 (日韓同時通訳)

14:05～14:30 報告 日本と韓国の移民政策と移住者  
報告者：李 惠珍 (公財)日本国際交流センター シニア・プログラム・オフィサー

14:30～15:30 ダイアログ 「移民社会」日本と韓国を展望する  
司会： 李 惠珍  
対談： 鳥井一平 移住者と連帯する全国ネットワーク代表理事  
毛受 敏浩 (公財)日本国際交流センター 執行理事、チーフ・プログラム・オフィサー  
ソク・ウォンジョン 「外国人移住労働者の人権のための会」 所長  
イ・ワン アジア人権文化連帯 活動家 (前代表)

15:30～15:45 休憩

## 第二部 日本と韓国に生きる移住者として

15:45～16:30 ダイアログ 移住者としての生きる：世代と空間を超えて (日英同時通訳)  
司会： イ・ワン  
対談： ガン・スルギ 「Uijeongbu EXODUS移住民センター」 活動家  
レイ・ベントウーラ ジャーナリスト、映像作家

16:30～17:50 パネルディスカッション  
移住者の目線から：「移民社会」日本と韓国の今とこれから (日韓同時通訳)  
司会： 毛受 敏浩  
パネリスト：マリップ・センブ NPO法人PEACE理事長  
チャン・フォン・ナム (一社) 在日ベトナム人協会事務局  
シュレスタ・ブパール・マン エベレスト・インターナショナル・スルール・ジャパン理事長  
ソ・モ・ツ 在韓ミャンマー労働者福祉センター運営委員長  
ガン・スルギ

17:50～18:00 閉会あいさつ